



社会医療法人社団 木下会

館山病院

館山病院の理念

“生命だけは平等だ、を基本理念とし、
「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」を目指します

Vol.3 2018年 10月

館山病院広報誌
発行：社会医療法人社団木下会 館山病院
〒294-0037 千葉県館山市長須賀 196
TEL.0470-22-1122 (代)
制作：館山病院 広報委員会
タテマガ編集室 (内線 725)

Tateyama Hospital Magazine

できないところを助けてあげて
「その人らしく」過ごしてもらう
それが看護師の役目

(2018 夏休み高校生医療体験 II号館2階 看護師 鈴木)



CONTENTS

Cover 2018年夏休み 高校生医療体験

- ②③ 第15回外来・入院患者さまのアンケート調査結果
- ④ 朝礼スピーチ集
- ⑤ タテマガNEWS 徳州会新聞～院長直言紹介～、新ユニホーム紹介
- ⑥ タテマガNEWS 高校生医療体験、館山病院感謝祭
- ⑦ 医療講座 Close-up
- ⑧ information

第15回外来・入院患者さまのアンケート調査結果 ※一部抜粋

◆調査の概要

調査目的: 今後のより良い病院経営、運営戦略を検討・立案する際の基礎資料を得るため、現在の患者さまの実態や病院への評価・満足度を把握し、その問題点の改善や満足度の向上に役立てることを目的とする。

調査期間: 【入院患者さま】 2017年5月8日(月)～5月20日(土)の13日間

【外来患者さま】 2017年5月15日(月)～5月20日(土)の6日間

調査方法: 調査票(紙媒体)を用いたアンケート。

【入院患者さま】 各病棟の病室で記入依頼を行い、職員が回収。

【外来患者さま】 受付にてアンケート調査の協力依頼を行い、会計後に職員が回収。

◆外来部門

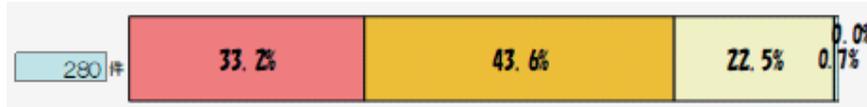
【医師の対応】

①患者さまへの配慮



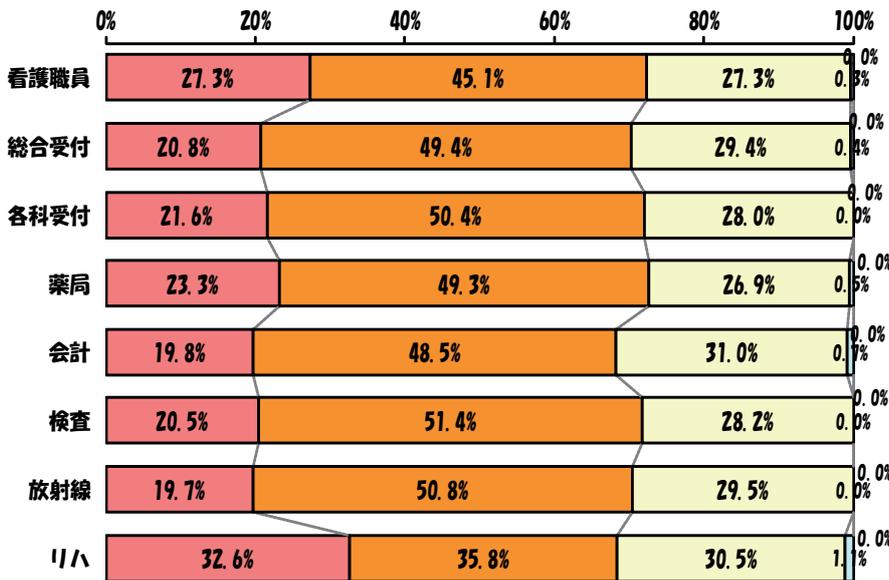
【評点】今回:77.4点 前回79点

②内容の説明



【評点】今回:77.3点 前回79点

【職員の対応】



評点

当院	規模	全体	有効件数
74.8	74.3	74.4	286件
72.7	72.4	72.1	269件
73.4	73.5	72.3	268件
73.9	68.7	68.6	219件
71.8	70.8	69.5	268件
73.1	73.5	73.0	220件
72.5	72.8	72.0	132件
75.0	64.4	69.6	95件

※規模とは当院と同規模の徳洲会グループ病院、全体とは全徳洲会グループ病院

◆外来部門・入院部門その他患者さまからのご意見(一部) ※()内は部門/病棟・診療科

【良かった点】

- ・リハビリ科のスタッフが気持ち良い挨拶でとても好感が持てます。皆仕事に対する熱意が組み取れて非常に気持ちが良い。(外来/リハ)
- ・早20年通院してますが朝「おはようございます」のあいさつは心がなごみます。(外来/内科)
- ・いつもありがとうございます。いつも優しく皆さんが接してくれるので助かります。今日の医師さんも、厳しくも優しくご指導いただきました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。(外来 医師/内科・呼吸器科)
- ・リハビリ病棟で3ヶ月近くお世話になり、先生をはじめ、看護師さん、皆さんに良くしていただき、お蔭様で回復しました。よく声もかけてくれて、本当に館山病院で良かったと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(入院 医師・看護師/1号館3階・整形外科)

【悪かった点】

- ・館山市の中心病院と思っていますが、実情は今一つ満足いく状況ではありません。大病院でないの無理かもしれませんが、総合受付に案内人がいて欲しいと思いました。(外来 受付/整形外科)
- ・駐車場に車椅子用の昇降スペースが少ない。特に雨の日など不便。(外来/内科)
- ・帰りのバスが12時に1本だけというのは不便。迎いのバスが逆コースを通るようにして、本数を増やせないか？(外来/脳神経外科)

◆入院部門

【医師の対応】

①治療の説明



【評点】今回:73.1点 前回70.8点

②検査・手術の説明



【評点】今回:75点 前回73.1点

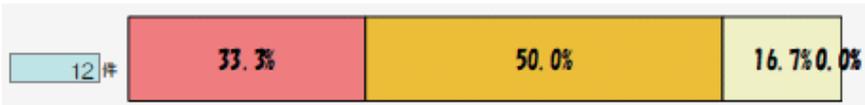
③退院後の治療の説明



【評点】今回:75点 前回65.9点

【看護職員の対応】

①処置の説明



【評点】今回:79.2点 前回78.3点

②看護態度



【評点】今回:75点 前回80.3点

③親切・思いやり



【評点】今回:76.9点 前回78.2点

【看護職員以外の職員の対応】



※規模とは当院と同規模の徳洲会グループ病院、全体とは全徳洲会グループ病院

計 334 名（外来 319 名、入院 15 名）の患者さまから調査のご協力と貴重なご意見をいただき、心より感謝申し上げます。次回の調査では今回の結果を上回れるよう、ご指摘いただいた点の改善に努めてまいります。当院では、「ご意見の投書箱」を院内に複数設置しておりますので、引き続きご意見をいただければ幸いです。【サービス向上委員会】

朝礼スピーチ

毎週火・木曜の朝 8:30 から朝礼があり、木曜は、スピーチを行っています。現場を離れられない職員もいますが、できるだけ出るというルールになっています。部署の代表者が、医療に関することから自身の趣味まで自由なテーマでスピーチを述べます。その一部をご紹介します。



1号館3階
(回復期・リハビリ病棟)
看護部 看護補助者
前原 沙耶香
(まえばら さやか)

①千葉県南房総市 ②写真・旅行
③なし ④努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る ⑤今はなし
(素敵だなと思える時には沢山吸収したいと思う)

Q&A ①出身地 ②趣味 ③特技
④座右の銘 ⑤生き方で影響を受けた人



コメディカル部
療法科
言語聴覚士
大浦 淳一
(おおうら じゅんいち)

①千葉県千葉市 ②読書 ③立泳ぎ
④人の幸せは4つ。愛され・褒められ・役に立ち・必要とされること ⑤亀田総合病院のリハビリテーションの皆さん

私は、館山病院に入職してから三年目になりました。入職当初は、業務や患者様の名前を覚えるだけでなく、身の回りのお世話など様々なことを覚える必要があります。そのため、運動麻痺や認知機能が低下している患者様に触れるのが怖く、どう車椅子へ移乗すればよいのか分からず、看護師の先輩方や療法士さんを見ながら、見様見真似で焦る日々が続きました。

そんな中でも、歩けなかった患者様が、退院する頃には杖やシルバーカーで歩いていく姿を見て、驚きよりも嬉しさがこみ上げ、「私も、患者様の退院が1日でも早く迎えられるように頑張ろう」と思いました。

ある日患者様に、「一人で頑張りすぎだよ。肩の力を抜いて一息つくと気持ちがお楽になるわ。無理せず頑張りな！」と声を掛けていただきました。忙しさのあまり、そんな姿を見せていたのだとハッと、申し訳なく思いましたが、同時にスッと肩の力が抜け少し気が楽になりました。私は仕事を覚える中で、患者様にできるだけ寄り添えるよう無我夢中で進んできました。しかし私一人で先に進むのではなく、スタッフと協力し合うことが、リハビリのサポートをしていく上で大切だと気付きました。

そして、自分ができることは何かと考えた時に、患者様に季節感を感じて欲しいと思い、季節ごとの行事や風景を、折り紙で折り、廊下の壁に飾ることを始めてみました。興味を持ってくれる患者さまも少しずつ増えたため、次は、患者様と一緒に折り紙を折ることにしました。手先の作業や離床時間が少しでも長くなることに繋がればと思いました。一緒に折ることで、患者様との間にコミュニケーションも生まれ、患者様の人となりなどを知り、疾患ではなく、個人として見ることができました。

忙しい中でも、病気ではなく患者様一人一人の個性を大切に、少しでも患者様に寄り添えるよう、リハビリのサポートをしたいと思います。

先日、子育てに関する本に、「自己肯定感」という言葉が載っていました。これは、「自分は大切な人間だ」「自分は生きている価値がある」という気持ちで、子どもにとって重要だそうです。

また、高齢者に関する本を読んだ際にも、同じく「自己肯定感」という言葉が載っていました。寿命が少なくなっていることを感じながらも、頑張ってお生きていかなければなりません。そのためには、生きていくためのエネルギーが必要となり、それが自己肯定感だそうです。例えば、あるファミレスで、小さな子どもが騒いでいた時、その子の親に注意したそうです。これは、その高齢者が子どもをうるさいと思ったからではありません。レストランでは子どもを静かにさせるということ、その子の親に教えた自分は社会の役に立つ人間だ、だから自分は生きていく価値があるという考えによるものだそうです。世話好きな方がいますが、これは、自分が役に立つ人間だと思うことにより、自己肯定感、すなわち生きていくためのエネルギーを得ようとしていることになりそうです。

わたしたち病院職員は、高齢者と接する機会が多くあります。高齢者の心理を理解することによって、より適切に接することができるようになると思います。

徳洲会新聞～院長直言紹介～

徳洲会新聞 2018年8月6日発行 No.1145の「直言」コーナーに竹内院長の記事が掲載されました。

※「直言」コーナーは、徳洲会グループの理事長をはじめとする幹部職員、病院長等が執筆しています。

「地域のニーズにどれだけ役立てるかが 新築移転が決まった当院の大きな課題」

館山病院 院長 竹内 信一

徳洲新聞とは、全国の徳洲会グループの医療機関での取組みを内外に発信する情報誌です。

なお、毎週月曜日に新刊を当院総合受付前のフリースペースに設置しておりますので、ご自由にお取り下さい。

市は地域包括ケアシステムの強化を推進しています。私が院長に就任した2012年、市の高齢化率は31.5%でしたが、今年2月には38.0%に増加、地区によっては50%を超えています。さらに、ひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、市が訴える「孤立ゼロを目指す」は切実な問題です。いわゆる「2025年問題」を迎える以前に、老老介護や独居の問題を何とかしなければなりません。

温暖で風光明媚な当地の環境を生かした医療提供

温暖で風光明媚な当地の環境を生かした医療提供。市は地域包括ケアシステムの強化を推進しています。私が院長に就任した2012年、市の高齢化率は31.5%でしたが、今年2月には38.0%に増加、地区によっては50%を超えています。さらに、ひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、市が訴える「孤立ゼロを目指す」は切実な問題です。いわゆる「2025年問題」を迎える以前に、老老介護や独居の問題を何とかしなければなりません。

地域の多くの方々から「いつ新しくなるのか」と聞かれていた館山病院の新築移転先が決まりました。旧・防衛施設庁の国有地跡で、現病院から1.5km、館山駅から1.2km離れた場所です。今後、近隣には館山警察署や館山市役所など行政機関が集約されることとなります。当院は1891(明治24)年に開設。現在、病床数208床で展開しています。地域の方々から市民病院的な存在として支持されるなか、関東大震災で倒壊したり、新築・改築を重ねたりしてきました。今回の新築移転にあたり、館山市長や市の幹部と面談を重ね、館山青年会議所からは「市民の皆さんを巻き込み、新築移転の有効性を訴えるべきです」との指摘を受けました。そこで当院の加藤尚子・看護部長らが「新病院の建設に向けて」と題するプレゼンテーション資料を作成し、市や近隣の住民の方々にアピールしてきました。

直言

地域のニーズにどれだけ役立てるかが 新築移転が決まった当院の大きな課題

職員全体で病院のあり方を考えていく



竹内 信一
館山病院院長(千葉県)

新病院の敷地は約5000坪で、現病院から約1000坪広くなります。そこで、50床規模の介護老人保健施設を院内につくことも考えています。元気な高齢者を増やすことも、私たちの仕事です。

病院の方向性は変えず さらに夢を広げていく

新築移転予定地の近くにはスーパーがあり、生活基盤が整っています。患者さんの生活を考

以前から、隣接する南房総市の白浜海岸の旅館から人間ドックのタイアップを提案されています。豊かな自然と共存する療養環境は、まさにメディカルベニンシユラ(半島の病院)にあさわしく、外国の方をお迎えするには理想的な環境です。現在、中国人看護師が10人在籍しているため、とくに中国から来ていただきやすくなっています。

当院の昨年度の外来患者数は1日当たり平均186人、救急件数は月平均32件、入院患者数は1日当たり平均166人、新入院患者数は月平均90人、手術件数は月平均4件です。病院の建て直しは重要ですが、それが地域の活性化につながることも問われています。

もちろん、地域の方々のニーズに十分に応えるのが基本です。私が目指しているのは、亜急性期、回復期、慢性期の病棟を併設したケアミックス病院です。館山市は「海と花のまち」で知られていますが、温暖で風光明媚な恵まれた地の利を生かした医療・療養環境を提供していきたいと考えています。

もちろん、地域の方々のニーズに十分に応えるのが基本です。私が目指しているのは、亜急性期、回復期、慢性期の病棟を併設したケアミックス病院です。館山市は「海と花のまち」で知られていますが、温暖で風光明媚な恵まれた地の利を生かした医療・療養環境を提供していきたいと考えています。

新築移転しても、使える従前からの医療機器は使う姿勢です。分相応の医療です。内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチ」を入れる病院が増えていますが、当地域のニーズを考えると、CT(コンピュータ断層撮影)やMRI(磁気共鳴画像診断)があれば、拠点病院の役割を果たせると考えます。地域医療では地域の病院や診療所と共存していかなければなりません。当院は安房医師会に所属し、地域の医療機関との連携もスムーズに運んでいます。また行政との関係も調順です。地域にとって当院が、どれだけお役に立てるかが、今後の大きな課題となるでしょう。皆で頑張りましょう。

すでにお気づきの患者さまは館山病院通です!! 8月よりメディカルクラーク、歯科・歯科口腔外科、事務部のユニホームが新しくなりました。スタッフや患者さまの評価も上々です。これからもよろしくお願いたします。

新ユニフォームに変わりました

メディカルクラーク



歯科・歯科口腔外科



事務部



2018 夏休み高校生医療体験

7/26 (木) 職種：看護師 安房西高校3年生1名参加
担当：館山病院 11号館2階 看護師 鈴木 あゆみ

～Cover掲載生徒さんの感想～

一昨年と昨年も館山病院で看護体験を経験し、今年も参加したが、違う体験をさせていただきとても楽しかったです。中学生のころ、他の病院で看護体験をした時より、患者さまと多くふれあうことができ、より強く「看護師になりたいな」と感じました。病室で行う足浴の実習では、講師の鈴木さんの患者さんに対する接し方がとても丁寧で、私も「あんなステキな看護師さんになりたいな」と思いました。患者さんが優しく血圧を測らせてくれたり、とてもフレンドリーなため、私自身の気持ちが明るくなり緊張もほぐれました。貴重な体験ができ本当に良かったです。

館山病院は医療を目指すあなたを今後も応援します
～参加いただいた生徒様の感想、講師のレポートをご紹介します～



患者さんは「温かくて、気持ち良い」と嬉しそうに話す。



点滴を取り扱う際の注意点を説明。

7/26 (木) 職種：薬剤師 安房高校2年生2名参加
担当：館山病院 薬剤科 副薬局長 関口 徹

今年も薬学部への進学を考えている2名の高校生が、薬剤科へ見学に来られました。病院薬剤師業務の話はもちろん、薬剤師免許を取得した際にはどういった就職先があるかを説明し、幅広い視点で薬学部への進学を考えていただけるようなお話をさせていただきました。また、当院が新築移転を控えていること、奨学金制度を設けていることも併せて説明させていただきました。実際の業務内容についても、カルテでの処方監査から調剤、病棟での薬のセットに至るまでの流れや、管理薬剤も含めた薬剤科に在庫している医薬品を実際に見ていただきました。今回の見学会が、漠然と思いついているご自身の将来像を少しでも具体化するお手伝いになれば幸いです。

7/25 (水)～27 (金) 職種：療法士
安房高校3年生1名・2年生4名 / 安房西高校3年生1名・2年生1名参加
担当：館山病院 療法科 作業療法士 松田 理恵

6名の高校生が理学療法・作業療法・言語聴覚療法・通所リハビリテーションの臨床場面を見学しました。リハビリテーション分野の免許取得までの道のりや仕事の内容、当院に実習中の現役大学生からは学生生活についてお話しました。実際に患者様の近くで見学、コミュニケーションをとり、最初は緊張した様子でしたが徐々に高校生から笑顔も見られ、療法士に対するイメージもふくらんでいる様子が伺えました。高校生からは終了後、「療法士になりたいという気持ちが強くなりました」「色々な療法士さんの姿を見て目指す夢の幅が広がりました」等の感想をいただきました。



利き手とは逆の手を使い物をつかむ作業療法の動作を体験。

創立127年 館山病院 感謝祭今年も開催

平成30年10月7日(日)『創立127年 館山病院感謝祭』が開催された。当日は台風の影響により強風だったが、多くの方々に来場いただき、盛況のうちに終えることができた。感謝祭を通じて、地域の皆さまとの交流、また、健康無料チェックや当院医師と職員によるAED(自動体外式除細動器)の参加型寸劇など健康への関心を高める場も提供できた。これもひとえに、館山市をはじめ、各団体及び各事業者様方の、多大なるご協力が得られたからこそだと感謝しております。今後もお力添えをお願いいたします。



館山病院 院長 竹内 信一 挨拶



健康無料チェックは150名の方にきていただいた。肺年齢測定の様子



杉村医師、職員がAEDの使用方法について劇を交えて説明。もしもの時には自分は何ができるか!?!と皆熱心に耳を傾けていた。



全国の徳洲会グループ病院25施設より、沢山の協賛品が届き、特産品の販売を行った。列をなすほどの大盛況!また、他施設のご紹介と有意義なブースとなった。

徳洲会グループ

8月～10月の医療講座

8月～10月の医療講座参加者は417名でした。ご参加くださいました皆さまありがとうございました。

- 8/ 3 (金) 転倒予防教室 (微笑の里) 担当：療法科 海瀬・小川・早川氏
 10 (金) リフレッシュ教室 (湊老人福祉センター) 担当：療法科 町田氏
 18 (土) 依存症ってなあに？原因と治療に必要なこと (イオンタウン館山) 担当：デイケア 佐藤氏 / 館山ダルク 北崎氏
 21 (火) 安房失語症友の会「菜の花会」(当院 ST 室) 担当：療法科 松田(奈)氏
 22 (水) 肺炎予防について (富崎公民館) 担当：療法科 大浦氏
 22 (水) 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) について (ふれあいサロンプリンセス) 担当：検査科 小林氏
 28 (火) 骨粗しょう症の治療と予防について (館山市コミュニティセンター) 担当：薬剤科 関口氏 / 療法科 上田氏
- 9/10 (月) 転倒予防教室 (びわの郷) 担当：療法科 海瀬・小川・早川氏
 12 (水) 生き生き教室 (館山地区公民館) 担当：療法科 上田・河辺氏 / 薬剤科 関口氏
 18 (火) 安房失語症友の会「菜の花会」(当院 ST 室) 担当：療法科 松田(奈)氏
 20 (木) 感染管理について (おもいやりの郷) 担当：看護部 杉田氏※職員研修
 21 (金) 認知症について (白浜根本集会所) 担当：地域連携課 川名氏
 22 (土) 年齢に負けない「からだ、を作ろう」(イオンタウン館山) 担当：訪問看護 大里氏 / 療法科 町田氏
- 10/1 (月) 転倒予防教室 (微笑の里) 担当：療法科 海瀬・小川・早川氏
 16 (火) 安房失語症友の会「菜の花会」(当院 ST 室) 担当：療法科 松田(奈)氏
 16 (火) 予防接種のおはなし (元気な広場) 担当：看護部 杉田氏
 22 (月) 健康づくり体操 (菜の花ホール) 担当：療法科 佐藤(健)・橋本・松田(理)氏
 26 (金) 感染対策について (みやぎの郷) 担当：看護部 杉田氏※職員研修



足踏み「しりとり」は頭とからだを同時に鍛えられる

平成30年9月21日(金)、南房総市の助け合い・支えあいの地域づくりを目的とした団体「ささえあいネットワーク やあばっしえ 白浜」より出張医療講座の依頼を受け、館山病院 社会福祉士 川名正喬が「認知症サポーター養成講座」を行い、30名の方に参加いただいた。認知症とはどんな病気なのか、認知症の方へどのように接したらよいかなどの説明の他、認知症の予防として、足踏みをしながら「しりとり」を行い、参加者同士が和気あいあいとした雰囲気の講座となった。最後に「認知症サポーター」※1の証であるオレンジリングが渡された。

※1「認知症サポーター」とは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けができる人たちのこと。

平成30年9月22日(土)、イオンタウン館山のコミュニティホールにて、「年齢に負けない「からだ、を作ろう」と題し医療講座を行い、56名の方に参加いただいた。講座1では、館山病院 訪問看護ステーション 看護師 大里京子が、いつまでも健康で過ごすためのからだづくりを、「食事」「睡眠・休息・心のケア」「運動」「口腔ケア」の4つのキーワードで、今日から日常に取り入れられる“ちょっとした工夫”について説明。また、間違い探しなど脳のトレーニングも行った。講座2では、館山病院 療法科 理学療法士 町田庄司が、気負わずに始めやすい「ながら運動」や主要な筋肉を鍛え姿勢を改善する方法を紹介。からだを動かしてよかった」「運動方法をもっと知りたい」など意欲的な声が挙がった。



座りながらできる「ながら体操」を実践する

館山病院では、皆さまが、健康で豊かな生活をお過ごしいただけますよう、当院の医師やスタッフによる医療全般に関する出張医療講座を開催しております。

各種会合や研修会・町内会行事・婦人会・サークル等、地域の社会福祉活動・企業の職員研修や学校の保健教育などをお考えでしたら、ぜひ当院の出張医療講座をご活用ください。

館山病院医療講座 時間13:30~14:30 ※開場13:00 会場:イオンタウン館山コミュニティホール

11月17日(土) 正しい感染対策で冬を元気に過ごそう

講師:館山病院 感染管理認定看護師 杉田 雅央

毎年流行するインフルエンザやノロウイルスにかかりたくないものです…ご本人の予防はもちろん、介護する側も健康管理に注意して、感染を拡大させないことが大切です。身近な人のためにも役立つ「感染対策のポイント」を感染対策の専門家がご紹介します。

- ①インフルエンザの特徴と予防方法
- ②ノロウイルスの特徴と嘔吐時の処理方法
- ◎手洗い・消毒の手順のポスターをプレゼントします!!



12月22日(土) 検査でわかる生活習慣病について

講師:館山病院 放射線科 診療放射線技師 苅込能宏
講師:館山病院 検査科 臨床検査技師 堀川友里江・小林友紀



～癒しの空間～
館山病院ギャラリーだより

※館山病院ギャラリーコーナーは
ドック・健診センター先渡し廊下

～10月31日(水)まで

第7回 館山市・南房総市・鋸南町

小学生絵画展



当院ギャラリーにて
展示作品を募集中!!
あなたの作品でギャラリー
を飾ってみませんか

問:0470-22-1122(代)
地域連携課(内線725)

土曜日、日曜日、祝日も開館しております
(開館時間:午前9時～午後4時30分)

【外来のご案内】

- ※休診
- ※予約なし
- ※予約制

※予約制の診療科を受診の際は、お電話にてご確認の上、予約時間までにお越しください。
総合診療以外の内科は予約制となりますので、予約時にお電話にて診療科をご確認ください。

診療科目	月			火			水			木			金			土		
	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診
内科※予約制・総合診療			総合診療のみ			総合診療のみ			総合診療のみ			総合診療のみ			総合診療のみ			総合診療のみ
外科	-	-	-	-	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-
泌尿器科		-	-		-	-		-	-		-	-	第2・4		-		-	-
精神科・心療内科			-			-	月1回	月1回	-		-	-		-	-		-	-
整形外科			-			-		-	-		-	-		-	-		-	-
脳神経外科		-	-		-	-		-	-		-	-		-	-		-	-
歯科口腔外科			-			-			-			-			-			-

【診療時間】 通常診療:午前9:00～、午後13:30～(土曜夕診) 夕診:17:00～(土13:30～)
※ドック・健診のお問い合わせ及びご予約は、平日の午前9:00～午後17:00



社会医療法人社団 木下会

館山病院

〒294-0037
千葉県館山市長須賀 196

Tel.0470-22-1122(代) Fax.0470-22-2826
<http://tateyama-hp.com/>

- 人間ドック・健診センター
Tel.0470-23-5030 Fax.0470-23-5034
- 歯科センター
Tel.0470-25-3555
- 訪問看護ステーションたてやま
Tel.0470-24-7311 Fax.0470-24-7312
- ヘルパーステーションたてやま
Tel.0470-24-7310 Fax.0470-24-7312
- ケアプランセンターたてやま
Tel.0470-25-3477 Fax.0470-25-3488
- リハビリテーションセンター
Tel.0470-22-1122(代)

- 館山市地域包括支援センターたてやま
Tel.0470-25-7191 Fax.0470-25-7192
- 指定通所リハビリテーションセンターたてやま
Tel.0470-30-8770 Fax.0470-30-8771
- ばんぶーはうす(生活訓練施設)
〒294-0038 千葉県館山市上真倉 2383
Tel.0470-22-1712 Fax.0470-22-1718
- 指定特定相談支援事業所たてやま
〒294-0038 千葉県館山市上真倉 2383
Tel.0470-22-1712 Fax.0470-22-1718